

V. 現地実行委員会

5.1. 総括（現地実行委員長：戸田裕之）

本項では、下記事情により現地実行委員長の感想を箇条書きに記すにとどめる。各系の報告内容と重複する箇所があるかもしれないが、ご容赦頂きたい。

現地実行委員会は下記のように開催した。

2017年3月 2日：第1回実行委員会（現地実行委員長，副委員長も出席）

2017年5月12日：第1回現地実行委員会

2017年11月7日：第2回現地実行委員会

2018年1月12日：第3回現地実行委員会

通常，第3回現地実行委員会は，大会開催日の前日に会場にて開かれるが，今回は企業見学会が開催日前日に企画されていたこともあり，2週間前に集まって頂いた。結果的には各系の進捗状況や課題が確認でき良かったと思う。

各系の連絡用にメーリングリストを用意した（関西支部ホームページで使用しているXSeverを利用した）が，ファイルによっては添付ファイルが送信されない問題があり，解決することができなかった。

今回は事前のアンケートに基づき平日開催であったが，大学からの参加者にとっては全日参加が難しかった。

大会ホームページが適宜更新されたため，フットワークは軽かったと思われる。ただし，ホームページでの事前参加申込みを17:00で打ち切ったが，少々わかりづらかったようで，午前0時で締め切った方が良いと思われる。

今回，分配器を新たに購入し各会場に準備したが，使えない部屋がいくつかあった。また部屋によってはコンセントの数が少なく，PC用のコンセントが用意できない部屋もあった。そのため，テーブルタップは十分用意した方が良いと思われる。また，プリンタを開催日前日に京都駅近くのヨドバシカメラで購入した。

当初，大会本部を受付裏と会議室の二カ所に設置する予定であったが，受付裏に一括した。この結果，各種連絡・連携がスムーズに行えた。

今回の大会は講演件数が多くセッションは全日8:30からの開始であった。そのため，実行委員長を含め現地実行委員の集合時間は，初日は午前7時，二日目は午前7:30とした。最後のセッションは午後6:30までであったが，作業が終了し解散するのは午後8時近くにまでなった。

展示会場は大変盛況であった。プロジェクターによるアニメーションで入口に誘導文字が投影され，また，レーザーヘッドライト搭載のBMWが会場中央に展示されるなどユニークな趣向が随所にみられた。周りに食事をするとところが限られていたことと，休憩時間が少ないなか，展示会場に多くの参加者に滞在頂くために，おにぎりや軽食を提供したことも好評であった。反面，特別講演の開始時刻に講演会場へ足を運んで頂いた人が少なかった。

特別講演の先生方には，講演会終了後にいったん特別講演者控室に集まって頂いた。各先生方の担当者，学会会長など他の招待者とタクシー3台で懇親会場へ向かった。

懇親会も大変盛況であった。条例に従い，乾杯は日本酒で行われた。舞妓さん・芸妓さんによる踊りや質問コーナーも好評であった。

当日に現地実行委員長が対応する案件（クレームなど）はなかったが、シンポジウムの座長で、事前に送付された案内が不親切（ベル押し時間などの記載がなかった）であると強い調子で本部までクレームを言ってきた先生がおられた。次第書に記載されてはいるが、簡単なもので良いので座長の手引きも事前に送付した方が良いと思われる。

日常業務の時間を削り、ボランティアベースで行うのが学会活動の基本とはいえ、実行委員長をはじめ、現地実行委員会の各係の方々には精力的に活動して頂いた。企業見学会の準備も現地実行副委員長および総務係の方々にすべて行って頂いた。本文に記載した内容も、ほとんどが実行委員長の阪部先生や事務局の指示によるものである。現地実行委員長は主だった仕事はしておらず、各係からのメールに対して細かい部分での修正をお願いする程度であった。大会当日は、座長や審査の業務がある以外は本部に滞在し、本部の電話（大会のトップページにも記載された）対応が主な業務であった。大会の成功は阪部先生のご尽力によってなされたものであり、先生には大変なご負担をおかけしてしまいました。改めてここにお詫び申し上げます。